

琉球水道公社新社屋全景。



落成式でテープを切る、(左から) 屋良琉球政府主席、ランパート高等弁務官、ワード氏、大浜水道公社総裁。後方は民政府公共事業局長H・W・ロンバード大佐夫妻。



琉球水道公社新社屋成る

琉球水道公社は最近コザ市島袋に落成した新社屋で業務を開始した。

この鉄筋コンクリート3階建てのビルディングは、同公社の収益ならびに民政府一般資金による総工費58万ドルで建てられたものである。

新社屋の落成式には、国際問題担当のデイビッド・H・ワード陸軍次官補、ジェームズ・B・ランパート高等弁務官、エドワード・E・ベネット民政官代理、屋良朝苗琉球政府主席、大浜博貞水道公社総裁等の名士が参列した。

この工事は国場組が請け負い、建築設計を浦添市のライアンズ・アソシエーツ社が担当した。